

第2回 食を通じた地域のプロモーション・交流事業を 新潟市、佐渡市で開催しました！

本年度第2回目となるツアーは、開催自治体として新潟市・佐渡市を選定し、2019年9月20日（金）～23日（月）の日程で実施しました。(株)ABC Cooking Studio（以下、ABC）の中国にあるスタジオに通われている20～30歳代の講師と生徒の方で、日本の食や文化に興味があり、日ごろからSNS等での発信力がある方、5名を招聘。新潟市、佐渡市が計画したツアーを体験いただき、参加者の生の声や反応を見ることで、自治体が今後のインバウンド事業推進のヒントを掴むきっかけを提供しました。

今回の事業を通し、本事業の効果・有用性について、新潟市、佐渡市のご担当者様からは次のようなご意見を頂戴しています。

<新潟市 観光・国際交流部 国際観光課>

- ・現在、通常のツアー等に取り入れられているスポットだけでなく、新規スポットや特別な体験も入れることで、モニターとして反応を見ることができ、今後、海外（中国）向けに、コンテンツ紹介やコース提案する際の参考にすることができた。
- ・今回の参加者は、これから特に力を入れていきたい中国市場でのターゲット層であり、今回の反応をもとに今後の誘客活動の参考にしていきたい。
- ・新潟米の中国向け輸出解禁のタイミングもあり、ABCを通して訴求する機会をつかむことができた。「食」は新潟市の大きな魅力であり、「食」に関するコンテンツのもつ可能性について再確認する非常に良い機会となった。

<佐渡市 観光振興課 交流イベント推進室>

- ・一般消費者が対象ということで、団体ツアー等での成果にすぐにつながる事業ではないが、現地の方の生の声や反応を見ることが出来るため、今後のFIT向けの事業展開において有用性があると感じた。
- ・ABCが料理教室ということで、食材の面での農業系との新たなつながりの可能性があることを感じた。実際にツアー行程に組み込んだ棚田での稲刈り体験を通し、「棚田オーナー制度があれば申し込みたい」といったお話も参加者からいただいた。
- ・参加者からの情報発信なども含め、PRが出来たことはとても効果があったと考えている。
- ・本事業に限らないが、効果を数値化することが課題。FIT向けということで、KPIをどう設けるか。

以下、ツアー概要を紹介します

【1日目】

羽田空港から東京駅を經由して新潟駅へ。

新潟駅では新潟市の職員の方々による温かい歓迎を受け、その日はそのまま新潟港から佐渡汽船の運航する高速船で両津港（佐渡市）へ。移動先の両津港でも佐渡市の職員の方々に温かく出迎えていただき、参加者からも笑顔が絶えませんでした。参加者の日本への渡航歴はそれぞれありましたが、新潟県は皆さん今回が初めて。参加者全員が今回のツアーをととても楽しみにしていました。



新潟市の方々と（新潟駅）



佐渡市の方々と（両津港）

<湖畔の宿 吉田家（1日目のお宿）>

ツアー初日の夜は加茂湖畔に建つ「吉田家」へ。佐渡の海の幸を使った料理に参加者は皆、舌鼓。特に「カニ」に喜んでいました。食事もさることながら、屋上露天風呂や部屋の窓から見える湖の風景に対する評価も高く、中国から佐渡までの長い移動疲れを癒していただけたようです。夕食後も参加者は個人的に居酒屋に行くなど、佐渡を楽しんでいました。



吉田家にて海の幸を堪能



佐渡市の居酒屋をぶらり

【2日目】 <魚市場>



浦島・総料理長と市場にて

朝一で市内の魚市場でセリを見学。佐渡市では市場と連携し、市場見学をツアーとして組み込み始めたばかり。コンテンツとして有効か、参加者の反応をみるため、行程に組み込みました。また、工夫点として、魚市場では、その日宿泊予定のお宿「旅館・浦島」の総料理長が、夕食として提供する料理の食材をセリ落とす様子を見学しました。参加者は、今晚のおかずが何になるのか、ワクワクしながらセリ風景を楽しんでおり、参加者の感想からも「めったにできない体験だった」など、好評を得ました。

<岩首昇竜棚田>

険しい傾斜を活かした変形の棚田が広がる「岩首昇竜棚田」。ここでは、地元農家の方に教わりながら新米コシヒカリの収穫体験をしました。体験を終えた後は、棚田が見渡せる場所に建てられた展望小屋で、地元農家の方がにぎった「新米コシヒカリのおにぎり」を食べ、食の魅力をたっぷり堪能しました。美しい景観と美味しいお米に魅了された参加者からは「棚田のオーナーになりたい」といった声があがるほど好評で、実際に「棚田のオーナー制度があれば申し込みたい」と要望もあり、佐渡市との今後のつながりも生まれました。



棚田協議会会長及び佐渡市観光振興課長
と棚田米稲刈り体験



棚田の展望台で農家手作りの新米おにぎり

<北雪酒造>

佐渡市内に5つある酒蔵のうちのひとつで、日本のシェフ「松久信幸」氏と「ロバート・デニロ」氏が共同経営しているレストラン「NOBU」(世界21店舗展開)と日本酒の独占契約を結んでいる酒蔵です。中国にも「NOBU」はあり、参加者もよく知っていました。参加者は酒蔵を見学し、お酒が造られる工程を学んだあと、タイプの違うお酒を飲み比べ、お酒造りについてスタッフの方に多くの質問を投げかけており、酒造りへの関心の高さが伺われました。



店舗前で記念撮影



工場見学の後、お酒の飲み比べ

<矢島・経島>

生憎の曇り空ではあったものの、矢島・経島にて「たらい舟」乗船体験。たらい舟は中国でも大人気となったジブリ映画「千と千尋の神隠し」で主人公の千尋が乗るシーンがあり、参加者が特に楽しみにしていたスポットの一つ。船頭さんが沖まで漕ぎ、参加者にも代わる代わる漕ぎ体験をしていただきました。水が透き通り、綺麗な景色の中での体験となり、参加者からも「ここでしかできない体験ができた」と好評でした。



たらい舟乗船体験



晴れた日の矢島・経島

<旅館 浦島>

浦島では、早朝に市場でセリ落とした魚を使った「寿司握り体験」を実施。総料理長指導のもと、3種類のネタで寿司を握りました。この取り組みは浦島としても初の試みであり、今後のインバウンド誘致も見据えた取り組みとして試験的に実施しました。参加者は真剣に説明を聞き、総料理長が用途によって包丁を使い分ける様子に興味深々で、翌日、佐渡汽船のお土産売り場では寿司握り体験で総料理長が使用していた「燕三条の包丁」を購入する参加者がいるなど波及効果もありました。



初めての寿司握り体験に挑む



総料理長と寿司と

浦島での夕食は、佐渡市役所の方々にも一緒に交流いただき、情報交換の場としました。



佐渡市役所職員、スタッフ、参加者と



浦島の方々と

【3日目】

<トキの森公園>

98年に野生絶滅に指定された「トキ」。現在は中国から贈られたトキが、ここ「トキの森公園」で増え（人工繁殖）、自然繁殖するまでになっています。ここでは観察小屋から、中国と

の友好の印であるトキを見学し、その後移動した両津港では、佐渡市のゆるキャラ「サドッキー」とも記念撮影しました。



トキの森公園



佐渡汽船でトキのモニュメントと

<旧斎藤家別邸>※ここから新潟市

日本遺産にも認定された国指定名勝。ここでは、日本三大芸妓の街として、京都の祇園、東京の新橋と並び称されてきた新潟古町で、200年の伝統を誇る新潟古町芸妓を鑑賞し、芸妓遊び体験や抹茶体験、庭の散策を楽しみました。日本文化に触れていただき、参加者の評価も非常に高いコンテンツでした。



お座敷遊び（樽拳）体験



芸妓さんと記念の一枚

<白根グレープガーデン>

1年を通じて旬の果物が楽しめる施設。この時期はぶどうの木の下で BBQ ができ、昼食で BBQ を楽しみました。参加者は「品質の高い日本産のぶどう」がとても好きなようで、大好きなぶどうの下で食べる BBQ に興奮していました。昼食後はデザートとあわせてぶどう一房を収穫体験して試食しました。参加者からは、「違う季節にも果物狩りに来たい」などの声もあり、満足度も非常に高かったです。



ぶどうの下で BBQ



たわわに実ったぶどうを吟味しながら収穫

<五徳屋十兵衛/studio Clan>

本格的な「花魁着付け体験」ができる施設。着付けと特設セットでの撮影体験ができ、撮影後、希望があればそのままの化粧、浴衣姿で古町歩きを楽しむことも可能です。今回の参加者には男性2名も含まれましたが、「絶対にここでしかできない体験」と、全員が花魁メイクと着付けを選択しました。参加者の評価も非常に高く、満足度の高い内容でした。



個々の風貌を見てスタイリング、メイクを決める先生と助手の方々



女性参加者の花魁着付け、撮影の様子



同左、男性参加者

<居酒屋ホッピング>

その日の夜は、実際のインバウンド対応を想定し、「ツーリズムにいがた(株) (新潟市) が、インバウンド向けに行っているプログラムを行程に組み込みました。参加者は日本酒についてレクチャーを受けた後、居酒屋巡りができるチケットを使用して居酒屋ホッピング (居酒屋数件をハシゴ) をするプログラムを実際に体験しました。ホッピングツアーには「ツーリズムにいがた(株)」の職員の方が同行され、新潟県に関わるクイズなどを出題するなど、今後、中国からツアーを招致していくにあたっての対応方法などを確認するきっかけとしていただけました。



ホッピング前の日本酒レクチャー



新潟クイズで大盛り上がり



新潟県産コシヒカリとお酒と参加者と

【4日目】

<What's NIIGATA>



萬代橋のそばにある新潟市のモニュメントでSNS映えする人気のスポットとなっている場所。台風接近により風が強く、中止の予定でしたが、参加者から「行ってみたい」との声が多く、幸い雨は降っていなかったため、当初の予定通り決行。各自、SNS用に写真撮影を楽しみました。

<北方文化博物館>

江戸時代中期、農業で成功し、新潟県随一の大地主となった伊藤家が、自らの財産を寄付し、財団法人北方文化博物館を創設した施設。豪農が広大な敷地に建てた豪華な日本家屋を見学しました。米どころ新潟の歴史や文化に触れられる場所であり、参加者からは「いい文化体験だった」、「もう少し説明を聞きたかった」など、積極的な声も聞かれました。

その後、同施設内で新潟県を代表する和菓子「笹団子」作りを体験しました。参加者にとっては、もちろん初めての体験でしたが、普段、料理教室に通っていることもあり、地元の方の指導を受けながら、上手に笹団子を作っていました。



施設についてスタッフから説明を受ける



地元の方から指導を受け、笹団子づくり

【ツアー行程】

1日目

時間	場所
17:55 ~19:00	新潟駅から新潟港へ移動し、ジェットfoil乗船。佐渡市両津港へ。
19:10~	以下、佐渡市 湖畔の宿 吉田家にて夕食、宿泊

2日目

6:30 ~9:00	宿泊施設近くの魚市場でセリを見学後、宿舎にて朝食
10:00 ~12:00	岩首昇竜棚田で稲刈り体験と昼食
12:30 ~13:30	北雪酒造で酒蔵見学
14:00 ~14:50	矢島・経島でたらい舟体験
16:00~	旅館 浦島で寿司握り体験、夕食、宿泊

3日目

8:30 ~ 8:50	トキの森公園でトキを見学
9:30 ~10:35	両津港からジェットfoilに乗船。新潟市へ。
11:00 ~12:00	以下、新潟市 旧斎藤家別邸で新潟古町芸妓観賞、芸妓遊び体験、抹茶体験
12:45 ~14:15	白根グレープガーデンでBBQ、ぶどう狩り体験（昼食）
15:30 ~18:30	五徳屋十兵衛で花魁着付け体験、撮影
18:30 ~21:00	五徳屋十兵衛で日本酒レクチャー後、居酒屋ホッピング（居酒屋3件）
21:00~	ホテルオークラ新潟（宿泊）

4日目

8:30 ~8:50	What' s NIIGATA（万代橋）で記念撮影
9:20 ~11:45	北方文化博物館で豪農・伊藤家見学、笹団子づくり体験、羽釜炊きご飯（昼食）
12:30~	新潟駅から東京・羽田空港 中国へ帰国